

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科内 『法学政治学論究』 刊行会
Publication year	2018
Jtitle	法學政治學論究：法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). Vol.119, (2018. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-20181215--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目 次

台湾における条件付起訴猶予の運用による薬物自己使用対策について	呉 柏 蒼	1
高等教育の質保証と教授の自由 —ドイツ連邦憲法裁判所のア kredィテーション決定を素材として—	栗 島 智 明	35
「場」としての国家／「人」としての国家 —オーリウ制度論の存在論的分析への布石—	大 野 悠 介	69
少年に対する更生保護事業の在り方 —日韓における更生保護施設による取組を比較して—	朴 珠 熙	105
武力紛争における戦闘行為への国内刑法の適用 —ドイツの議論状況を中心に—	久保田 隆	139
イギリス帝国におけるモスル問題、一九一六—一九二六	赤 川 尚 平	171
「判断」ではないものとしての「思考」 —アレント革命論との関係で—	寺 井 彩 菜	203
明治日本におけるドイツ法研究の先駆者たち —「日本人ドクトル・ユース」の存在と役割—	加 藤 学 陽	237
韓国における条例制定権の現状及び拡大可能性	李 侑 娜	275
競争法上の破綻会社の抗弁と因果関係の判断基準 —一九九八年フランス共和国事件判決を素材として—	野 崎 光 駿	309

計算書類の内容の違法と分配可能額	大 島 一 輝	339
改正組織的犯罪処罰法における「犯罪収益」概念とその前提犯罪に 関する考察	橋 本 広 大	373
人格権侵害における被害者の承諾の判断枠組 —フランス法における人格権の保護法理との比較—	石 尾 智 久	407
EUにおいて禁止される国家援助の判断要素としての「選別性」概念 —加盟国の租税措置に係る事件を中心として—	高 橋 里 枝	441
国際競争の歪曲と世界貿易機関（WTO）における国内補助金規律 —「競争優位」にまつわる規律上の論点の再考—	坂 入 遼	475
デリダ歓待論におけるカント的展望	板 倉 圭 佑	503
損害賠償額の予定に関する合意の効果論 —抽象的損害計算論を分析視角として—	河 野 航 平	535
第二次世界大戦期イギリスの対「フランス」政策、一九四〇年 —チャーチルのイニシアティブを中心に—	中 村 優 介	571